

社協

第92号

社協あさきた  
ボランティアセンターだより

編集発行  
社会福祉法人  
広島市安佐北区社会福祉協議会  
広報委員会

〒731-0221 広島市安佐北区可部3丁目19番22号  
安佐北区総合福祉センター4階  
TEL.082-814-0811 FAX.082-814-1895  
E-mail:kita@shakyohiroshima-city.or.jp  
http://shakyo-hiroshima.jp/asakita/

発行部数 / 52,000部  
2014年(平成26年)春

# あさきた

特集

## 朝市はふれあいの場

安佐地域

飯室・久地

高陽地域

落合東

白木地域

三田

安佐北区内では、今約20カ所「朝市」があります。地元で採れたて野菜などの販売が平成5年頃からさまざまな地域で広がっています。

販売だけではなく、来店された方と出店者との間で、自然なつながりやふれあいもできており、特にスーパー等店舗がない地域の方にとっては、歩いていける距離で購入できることも喜ばれています。今回は、中山間部の安佐地域「生砂(うぶすな)自治会野菜売り場」「野原(のばら)朝市」「追崎(おっさき)朝市直売所」、白木地域「三田レディースふれあい市」や団地部で開設されている高陽地域「落合東朝市」をご紹介します。



### \*三田レディースふれあい市\*

【場所】安佐北区白木町大字三田4247 【販売時間】月から土曜日 9時から12時、日曜日 9時から14時

目次～主な内容～

- 特集 朝市はふれあいの場 ..... P1～P2
- わたしのまちのきらりぴとさん ..... P4
- 三田・落合東・飯室・久地地域 ..... P5
- 子育て、若者支援団体の紹介 ..... P5
- 買い物の問題を知るためのアンケート ..... P3
- 幻のパン広北ペーカリー ほか ..... P6

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金を一部充当して作成しました。



＊ 追崎朝市直売所 ＊

【場 所】国道191号線安芸太田町境追崎橋近く  
【販売時間】土曜日 7時からお昼頃(完売まで)

## 朝市はふれあいの場

# 笑顔



＊ 落合東朝市 ＊

【場 所】安佐北区落合3-8-14  
金平近隣センタービル1F  
【販売時間】水・土曜日 10時から12時

安佐地域飯室地区の「生砂自治会野菜売場」は、山間部の谷間で田畑が多い地域に位置しており、今年で21年目を迎えます。運営は地元自治会(14世帯)のうち、現在7名の会員が、それぞれの農家でつくられた旬の野菜を販売しています。会員の谷本妙子さんは、「お茶を飲みながら、お客さんには一息ついていただいて、野菜の調理方法などを教えたり、教えてもらったりしています。喜んで買ってもらえることが自分たちの生き甲斐にもなっています」。同地域の「野原朝市」でも、地元の団地からも購入に訪れています。

また、安芸太田町との境に位置する安佐地域久地地区の「追崎朝市直売所」は、うぐいすのさえずりが響く中で、地元自治会(18世帯)のうち、会員8名が自分たちでつくった野菜や杵つきもち、漬物を土・日曜日に販売。五日市方面からのお客さんは、「ここに来て、私たちが元気なおばあちゃんから元気をもらっています」と漬物の作り方で話が盛り上がっています。

6年前からはじまった高陽地域の落合東地区では、落合東地区社会福祉協議会や地区民生委員児童委員の協働で、集合住宅の1階で週2回開いています。金平地域は公営住宅が多く、高齢化も進んでいますが、地元到现在スーパーはありません。「スーパーが無くなり困っていたが、朝市があって助かっています。買い物に来ると顔見知りになるし、交友関係も広がったのは良かったと思います。朝市は今後も続けてほしいですね」と岡田アキミさんはふれあいを大切にしています。白木地域の三田地区は、地元女性会が運営される「三田レディースふれあい市」を毎日開催。8年前から地元スーパーの一角を使い、ふれあいきいきサロンでつくられた竹炭、地元で採れた旬の野菜等を販売。会の幸田尚子さんは、「年2回夏と年末には、感謝祭でぜんざいやそうめん、コーヒーを振る舞っています。普段でもコーヒーを飲みながら、いろいろな話に花をさかせています」と笑顔で話していました。



＊ 野原朝市 ＊

【場 所】安佐北区飯室 上烏帽子バス停近く  
交差点から星が丘団地方面へ車で5分  
【販売時間】月・金曜日 7時から10時頃



＊ 生砂自治会野菜売場 ＊

【場 所】安佐北区飯室 飯室バイパスから  
広島市野外活動センター途中の生砂集会所下  
【販売時間】毎日 9時からお昼頃(完売まで)

## 夏休みを利用した 学習支援が始まります

ひとり親家庭の子どもたちを対象として、学習習慣を身につけ、基礎学習の向上を目的とした学習支援講座が始まります。多くの方からのお申し込みをお待ちしています。

詳しいことは6月1日発行の広島市の広報紙「市民と市政」にも掲載されます。

なお、詳細については市母子寡婦福祉連合会までお問い合わせください。

<お問い合わせ> 一般財団法人広島市母子寡婦福祉連合会事務局

電話(082)241-1768

FAX(082)241-3722

〒730-0052 広島市中区千田町一丁目9番43号

対象者	広島市に在住のひとり親家庭の子ども
対象学年	小学校4年生～中学校3年生
募集人数	各会場で10名程度
会場	安佐南区総合福祉センター 他
指導科目	算数・数学・国語・英語(中学生)
日程	開催日 全15日 1日2時間 7月/23日・25日・28日・29日・30日 8月/1日・4日・7日・8日・11日・ 18日・19日・20日・22日・25日
指導内容	教科書を中心に指導します。 (学校の宿題、テスト対策、受験対策、 選抜1対策も行います)
費用	無料

## 弁護士無料法律相談のお知らせ

- 内容  
多重債務、破産、離婚などについて弁護士による無料相談
- 相談日時  
平成26年 7月16日(水) 13:00～16:00
- 相談料 無料(定員6名)
- 相談時間 ひとり30分
- 場所  
安佐北区総合福祉センター(可部3-19-22)
- 申込  
6月16日(月) から電話またはFAXにて受付(原則、安佐北区内に居住する方を優先)
- 申込先  
安佐北区社会福祉協議会  
(電話:814-0811 FAX:814-1895)



わたしのまちの  
**きらりびと**  
さん  
インタビューシリーズ  
③



私たちのまちで、キラッと輝くような地域活動をされている方を紹介しています。

今回は、安佐町後山の  
**山本 龍之さん**  
(74歳 日浦地区社会福祉協議会事務局長)です。

山本さんが地区社協の取り組みに参加された経緯を教えてください。

平成18年頃から現在まで、地区社協の事務局長をさせていただいています。「少しでも地域の役に立つことができれば」という想はずっともっていましたが、会社勤務の頃は転勤が多くほとんどを他都市で過ごしたため、近所の方とは多少言葉を交わしたり田植えや稲刈りの時期に帰省をするくらいでした。平成12年の定年退職後から、地元の後山自治会の取り組みや行事に参加しました。地区社協の会合や取り組みの中で、専門用語が飛び交い分からないこともたくさんありましたが、地区社協会長さんをはじめ、周りのみなさんに助けられました。

日浦地区社協では、平成25年3月に「福祉のまちづくりプラン」を策定されましたが、どのような取り組みが必要になったか教えてください。

日浦地域は兼業農家の多い地域で、毛木、後山、宮野、筒瀬の4自治会あり、それぞれが山や谷で区切られた地形で分断されており、地域全体でひとつのことに取り組むことは困難です。地元の宮野自治会の人口は68名で、3自治会は255名から385名となっています。65歳以上人口の割合は41%から57%と自治会で異なりますが、年々高齢化は進んでいます。児童数は10名で減少傾向が続いています。その中で、平成25年3月に日浦地区社協として福祉のまちづくりプランを策定しました。各自治会の取り組みを確認しながら、同時に今地域で必要とされていること話し合い、また地域全体でアンケートを行い、主に「買い物や病院へバスで行けない」「通勤、通学が不便」「農業の後継者がいない」などが困っていることとして浮かんできました。具体的な対応として「草刈支援」では活動可能な方を募り、「買い物不便の解消」では移動販売を拡充し、高齢者の方に

は喜ばれています。

これまで地区社協では、配食活動に平成7年から取り組んでいます。毎週火曜日に施設と協働で実施し、顔の見える関係づくりに役立っています。また、最近では新聞が滞まっている世帯などがあれば、新聞販売所から地域包括支援センターに連絡が入るように協力体制ができています。

今後の抱負をお聞かせください。

自分たちが子どもの頃とは違い、今の時代にあったゆるやかな結びつきをこれからも継続していきたいと思えます。日浦は兼業農家も多い地域で、後継者をどうするか問題はありますが、若い世代の方たちと交流を図って少しでも定住してもらうことができればいいなと感じています。

ありがとうございました。自治会ごとの取り組み姿勢に、改めて敬意を表します。ますます、ご活躍ください。

野菜でつながる



**シニアの輪**



久地南地区老人クラブのメンバーが、元水田をかりて野菜作りに汗を流されていました。

野菜作りのきっかけは、6年前に、老人クラブで請け負っていた団地の駐車場の草刈りをしていた時に、みんなで一緒にできることがないかと考え、野菜作りにたどり着きました。

男性8人女性2人でスタートし、草がぼうぼうのところをみんなで手分けをして畑にしました。

野菜作りは効率を求めず、農薬を使わない有機栽培にこだわっています。

できた野菜は、お互い自慢をしたり、ご近所におすそ分けをしたりし、時には、みんなで作った野菜を料理して一杯飲んで騒いだりと、いろいろな楽しみが増えています。

「シーズンは時々手入れをするくらいですが、シーズンに入ると種まきや水やりで毎日忙しくなります」とみなさんの元気な笑顔が見られました。



\*\*\*\*\*

**シリーズ 魅力ある広報紙作り**



**その6 見出しの練習法 猫の手アドバイス**

前回は、主に見出しの「文法」についてお話ししました。法則は分かって、いざ考えようとすると言葉が出てこないという悩む人も多いでしょう。

私もかつて新聞社の編集部である整理部に配属になってすぐは、見出しが全然つきませんでした。「自分には才能がないみたいだ。会社を辞めようか」と思ったほどです。皆さんが悩むのも当然です。

実は、見出しには独特のリズム感とパターンがあります。それが分かって修正していくと、だんだん見出しらしくなってきました。

分かりやすくするために、誰でもご存じのおとぎ話「桃太郎」を題材にしてみましょう。お婆さんからきび団子をもらって、犬、猿、キジを従え、鬼を退治しに行く物語です。

その中で、鬼ヶ島を攻めて勝利するシーンを想像してみてください。どんな見出しを思い付くでしょうか。

主人公はやはり桃太郎ですね。赤鬼、青鬼をやっつけました。こはストレートパンチで…

- 「桃太郎 鬼をやっつける」
- 「桃太郎 鬼らに圧勝」(相手が複数だから)

まず思い浮かぶのは、こんな見出しでしょうか。  
さらに、脇役の犬、猿、キジも登場させたいですね。  
そこで…

**桃太郎 鬼らに圧勝**  
犬、猿、キジも力合わせて



という主8本、脇10本の2本見出しが出来上がります。

比較的簡単に見出しが出来たのはなぜでしょうか。ちょっと考えてみましょう。

桃太郎のストーリーは、子どものころ絵本などで何度も繰り返し頭の中にインプットされています。イメージが浮かびやすかったからではないでしょうか。

「主見出し8本、脇10本」のリズム感を体得するため、「サルカニ合戦」「浦島太郎」などの話で、家族と遊びながら練習してみるのも、一つの手です。

広島文教女子大学 グローバルコミュニケーション学科 教授 岡馬 重充(おかば・しげみつ)

このシリーズは、広報紙づくりの工夫などを知ってもらうとともに、楽しく広報紙を読んでもらうための視点としてもお役立ていただくよう掲載しています。

\*\*\*\*\*

## ● 大学生の子育て応援 ●

広島文教女子大学では、学生による子育て支援グループ“パパママ応援団「ぶんこ」”が概ね月1回、原則第2土曜日の午前10時から午後3時に大学内で“オープンスペースぶんこ広場”を開いています。

4歳未満のお子さんとその保護者が無料で利用でき、子どもたちは大学生とおもち遊びや絵本の読み聞かせなど、月によってはお面などの工作づくりや折り紙をしながら、楽しく過ごすことができます。

平成18年に結成されたグループは、幼児教育を学んでいる大学生を中心とした1年生から3年生までの約40名が、子どもたちや保護者らとのふれあいを大切にしながら活動しています。

参加されたさあやちゃん(3歳)、ありさちゃん(1歳)とお母さんは「友達から聞いて参加していますが、土曜日に開いているのが助かります。大学生のおねえさんたちと一緒に遊ぶのを子どもたちも楽しみにしています」と次回も楽しみにされていました。

グループの2年生で将来、保育士を目指している原咲子さんは、「ここに来られたら、お父さんやお母さんたちには気軽にゆっくりしてほしいです」。担当の植田先生は、「保護者同士のつながり、子どもはもちろん保護者と学生たちのふれあいから、学生たちも貴重な体験をさせてもらっています」。学生が主体となって取り組んでいますが、大学と地域とのつながりの一環としての学びや地域貢献になっています。



### お問い合わせ

広島文教女子大学 心理学科 植田研究室 まで  
TEL: 082-814-2135 (内線335)

ホームページ <http://www.h-bunkyo.ac.jp/bunko/top.html>  
ホームページ内の「お問い合わせ」からメールを送ることができます。

## ● NPO法人 子どもネットワーク可部の取り組み ●

「ほっとけんよね」を合い言葉に、おせっかいなおばさんたちで「すべての子どもの輝き」を希望に、平成14年1月にNPO法人の認証を受けました。地域で子どもたちに関わる取り組みをされている団体やグループとネットワークをつくりながら、連携や交流を行い、子どもたちの育みを目的に設立されました。

遊び体験や積み木遊び、料理、文化鑑賞、親同士の支え合い、親子や異年齢の子どもたちのふれあいなどに取り組まれています。その中のひとつには、子どもたちが自由にのびのび遊べるようにする冒険遊び場(プレーパーク)を、可部東四丁目の寺山公園を使い週3日、午前11時から午後3時まで開設されています。参加される子どもの多くは小学生が中心で、ロープを使った綱渡りをしたり、飴づくりやノコギリを使って材木を切ることなど道具を使ったものなど、普段家では出来ない遊びを楽しむ場になっています。

同法人の増谷郁子さんは、「保護者の方には、子どもたちのいきいきした顔や笑顔に気付いてほしい。そして、子どもたちにも五感で感じられることを楽しんでほしいです。子育てに困ったことがあれば、だれでも気軽にお問い合わせをしていただければ」と語られています。

中学1年生の古市慧太君は「今日はお好み焼きをつくりました。みんなで材料を買い出しに行って、一緒につくりました。小学校4年生から参加していますが、自分で考えたり、みんなで一緒にいろいろなことができるのが楽しい」とこれからも楽しみにされています。



### お問い合わせ

NPO法人子どもネットワーク可部  
安佐北区可部四丁目10-8 石田ビル3階  
TEL: 082-815-1530

ホームページ  
<http://www.konetkabe.npo-jp.net>

## ● 若者の自立・就労支援 ひろしま北部若者サポートステーション ●



「働きたいけどどうしたらいいかわからない…」など、働くことについてさまざまな悩みを抱えている15歳から39歳までの若者のみなさんの就労、就学をお手伝いする「ひろしま北部若者サポートステーション」が安佐市民病院の前(可部)に開設されました。

支援内容は個別相談に応じ、就学又就職、職業訓練に向けたサポートを継続して行っています。

利用される方は、農業体験や職場体験などの体験を通して「働く喜び」を、就活セミナーや社会人への準備講座などで「学ぶ喜び」を、ボランティア活動では「参加する喜び」を実感されています。

毎月発行される「きたサポだより」やホームページに、たくさんの活動紹介やイベント紹介が掲載されています。

ぜひ、就労や就学のきっかけとしていただければと思います。



### お問い合わせ

ひろしま北部若者サポートステーション(サポステ)  
安佐北区可部南5-13-21

TEL: 082-516-6557

ホームページ <http://hiroshimahokubu-sapo.roukyou.gr.jp>



# 幻のパン 広北ベーカリー



“自ら学び、知ろうとする”日頃の積み重ねを大切に、安佐北区三入東にある県立広島北特別支援学校の高等部職業コースでは、授業の中で接客の仕方や清掃、物流サービスのほかに、パンやお菓子づくりにも取り組まれています。

特にパンづくりは、1年生の時からパンづくりの基礎を学び、3年生では生徒が中心となって製造から販売までの行程を行い、お客さまに直接ふれあうことで、授業で学んだことを卒業しても活かせるようにされています。

11月から3月まで期間限定の“3種類の酒粕パン”は特に好評です。このパンは可部地域内にある酒造会社から譲り受けた酒粕を使っており、つくられた100個は販売しても数分で売り切れてしまうそうです。

3年生の馬場綾奈さんは、「パンの形をつくるのが楽しく、

おいしいと言ってもらえると嬉しい。将来は接客の仕事に就きたい」と話してくれました。また、同学年の三戸善治さんは満面の笑みで、「毎年、平和マラソンを走っていますが、パンづくりも一緒に出来たときの喜びを忘れることはできません」とうれしそうでした。



パン販売は広島県庁や安佐北区総合福祉センター等で“広北マーケット”の愛称で年数回販売をされています。職業コースの高橋先生は、「生徒たちは、パンづくりなどを通して何事にも自信を持って、前向きにチャレンジできるようになりました」と成長に期待を寄せていました。



## 死者が生じる住宅火災が続いています！



### 火災予防のポイント！

安佐北区内では、平成26年3月末現在で火災は18件発生しており、そのうち建物火災は8件で、2名の方が亡くなり、4名の方がケガをされています。

大切な命を守るため、すべての住宅に煙を感知して火災をいち早く知らせしてくれる「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。早期の設置をお願いします。

また、お年寄りの就寝は、1階の「避難しやすい場所」にするなど、火災による死者を出さない工夫が大切です。

【お問い合わせ】安佐北消防署 予防課

☎082-814-4795(平日8:30~17:15)

ガスコンロなど火気を取り扱う場合は、そばを離れない



電気器具を使用しないときは、必ずプラグをコンセントから抜いておく



住宅用火災警報器に付いたホコリなどは乾いた布でふき取ってください。点検ひもや押しボタンによる作動確認を実施してください



## かけはし ~悩んだり、困ったときはご相談ください~



「かけはし」は、認知症や知的障害・精神障害により判断能力が不十分なため、福祉サービスを自分で適切に選べなかったり、自分だけでは日常的な預貯金の入出や各種支払いが困難であったり、通帳など貴重品の保管や管理に不安を抱えている方が安心して地域で生活ができるよう、かけはし専門員と生活支援員と一緒にしてお手伝いします。事前の訪問、各種相談は無料ですが、サービスの利用は有料です。

- かけはし専門員が支援計画の作成や関係機関との調整をします。
- 生活支援員は、作成した支援計画に基づき定期的に利用者宅を訪問し、本人の状況を伺い、福祉サービスの利用手続きに関する情報提供や相談、預貯金の出し入れ等をお手伝いします。
- 福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理サービス：1回(約2時間)：1,500円
- 通帳等の預かりサービス：1か月1,500円 ※生活保護世帯は利用料負担が免除されます。

お問い合わせ 安佐北区社会福祉協議会

TEL 814-0811 / FAX 814-1895

### 可部福祉センターからのお知らせ

<申し込み・問い合わせ> ※休館日：毎週火曜日  
可部福祉センター(安佐北区可部南2-23-28)  
(TEL 815-6480)

#### ◆救命救急(いざという時)講座◆

日時：平成26年7月19日(土) 13:00~16:00  
場所：可部福祉センター2階ホール  
(安佐北区可部南2-23-28)  
内容：人工呼吸、心臓マッサージ、AEDの使い方等  
準備：動きやすい服装、水分補給のため飲み物を持参  
対象：大人(子ども同伴でも受講できます)  
定員：20名  
受講料：無料  
申し込み：7月7日(月)までに電話で可部福祉センターまで



ご協力ありがとうございました

## 平成24年度 共同募金安佐北区分会実績額

# 募金額 / 13,006,128円

(平成26年3月31日現在)

内訳/戸別:10,942,741円 街頭:194,130円 職域:392,549円 法人:1,391,978円 その他:84,730円

赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、地域の福祉活動を支援する募金です。災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援にも役立っています。

## スマホでぱしゃり！

咲いた♪咲いた♪チューリップの花が暖かい日が続いた5月の連休に咲いたそうです。次は暑い夏対策でゴーヤの準備。



### 愛の灯

安佐北区社協に、みなさまより多額のご寄付をいただきました。みなさまのご厚意に感謝申しあげ、ご報告いたします。平成26年4月30日

〈一般〉  
山下 武志 様  
勝圓寺仏教婦人会 様  
南原中組三班御一同 様  
広島清和ライオンズクラブ 様  
会香典返礼の一部  
原田 昭子 様  
〈物品寄付〉  
車いす1台  
西日本日立流通サービス株式会社 様

### ★編集後記★

読者プレゼントは2回目ですが、第91号の読者プレゼントには72名の方から応募がありました。かわいらしいイラストが描かれていたハガキやFAXをいただき、ありがとうございます。抽選ではずれた方は申し訳ございません。これからも読みやすい広報紙にチャレンジしていきます。また、スマホや携帯電話などで、皆さまが撮られた写真も募集しています。区社協事務局までご連絡ください。

(編集者)

